

## 財団法人京都ボーイスカウト振興会

### 平成 24 年度 事業計画

#### 1. はじめに

平成 24 年度の実業計画では、京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神を育成するという当法人の目的を達成するために、事業の内容を以下の通り明確にするとともに、それぞれの事業において計画を策定し、実行する。

- (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業
- (2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業
- (3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業
- (4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業
- (5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

#### 2. 事業計画の内容

##### (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

###### (ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

###### (ア) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

###### (イ) 事業予算

事業費として、2,300 千円を見込む。

主に日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）に対して、ボーイスカウト講習会、ウッドバッジ実修所・研修所、京都キャンポリー等に必要となる経費を助成する予定である。

###### (ウ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。

なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22, 559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 事業予算

事業費として、300 千円（野営場等整備委託費用）を見込む。

(オ) 体験活動を通じて学習できる経験とその価値

ボーイスカウト教育における自然体験活動は単なる戸外ではなくもっと広い、もっと大きな自然から学ぶことを意図している。つまり、大自然を教場として、大自然の中に身をおき、身体を鍛え、技能を磨き、知識と強い意志を身につけ、中でも大自然の神秘に触れ、人のおよばぬ強大な力を感じるとき、創造主としての神を信じ、仏の加護に感謝する気持ちが生まれ、自然と信仰が芽生え育つ。このような日常のスカウト活動を通じ育っていく信仰心が年齢を重ねていくに従い、より明確な形となり、神（仏）への努めを果たす社会人になっていくと考えている。

(カ) 広河原野営場近隣において舎営施設の取得を計画

今後、広河原野営場の近隣に舎営施設を取得する予定である。現時点の計画では、建物延床面積 60 坪、敷地土地面積 100 坪、総投資額約 40, 000 千円を予定。建物及び建物付属設備の取得価額を 30, 000 千円と見込んだ場合には、事業費として、減価償却費を通じて約 1, 380 千円増額（定額法、耐用年数 22 年、年償却率 0. 046）する予定である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 参加者の募集方法

ホームページを通じて募集する。

(ウ) 実施回数

年 1 回以上を予定

(エ) 講演会予算

事業費として、300 千円（講演料 200 千円、会場使用料 100 千円）を見込む。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）  
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。

(エ) 事業予算

事業費として、540 千円（普及宣伝費 50 千円、ホームページ運営改革費 390 千円、通信運搬費 50 千円、印刷製本費 50 千円）を見込む。

### 3. 財源の確保

維持会員数の推移については、平成 21 年度（123 会員）、22 年度（133 会員）と増加傾向にあった。しかし、平成 23 年度においては、維持会員数は減少する可能性がある。新たに、経済界、有識者の方に加わっていただき、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していけるように努力するとともに、当法人及び京都連盟関係者の方々も振興会維持会員の勧誘活動に一層のご協力をお願いする次第である。

以上